

企画展 アイヌ刀

エムシ・タンネパイコロ・タクネパイコロ

アイヌ刀とはアイヌが所持していた刀のことを指します。アイヌが和人から入手した日本刀の刀身にアイヌ文様を施した鞘や柄などを拵えたもの—エムシ(刀)—や鞘や柄に飾り金具などを取り付けた刀身のないもの—イコロ(宝)—があり、イコロは—タンネパイコロ(長い・宝)—と—タクネパイコロ(短い・宝:腰刀とも)—に分けられます。アイヌ刀は闘争などに用いられるのではなく、儀礼の際に魔を祓うものとして欠かせない持ち物でした。

本展では、アイヌ刀について当館収蔵資料を中心にをご紹介します。



セツバ(鐙・つば)



タンネパイコロ



エムシ



エムシ刀身



刀の意匠が彫られたイクバスイ



刀装具表現のあるイクバスイ
※資料はすべて当館蔵

関連行事

※新型コロナウイルス感染拡大状況により、延期・中止となる場合があります。ご了承ください。

【学芸員による

展示解説スライドトーク】

日時: 4月29日(金・祝) 11:00~、14:00~
5月7日(土) 11:00~、14:00~
6月18日(土) 11:00~、14:00~
(各回とも40分ほど)

対象: 一般
定員: 25名
場所: 当館 研修室
料金: 無料
申込: 不要(当日先着順)

【講演会】

日時: 5月28日(土) 14:00~15:30
演題: 「アイヌ民族の刀帯
その変化と復興のあゆみ」
講師: 北海道博物館アイヌ民族文化研究センター
学芸主査 大坂 拓氏

対象: 一般
定員: 70名
場所: 当館 研修室
料金: 無料
申込: 5月6日(金) 9:30から電話かHPで申し込み
(先着順)

【苫小牧アイヌ協会によるリムセ(舞踊)】

日時: 6月11日(土) 14:00~
対象: 一般
場所: 当館 正面玄関前
申込: 不要

同時開催

- 収蔵品展「動物の絵」 2022年4月29日(金・祝)~6月26日(日)
- 中庭展示 vol.18 川上りえ「Yet We Keep Seeking for a Balance 2022」 2022年4月29日(金・祝)~2023年3月12日(日)



アクセス

- バス 苫小牧駅南口より、のりば①から「24番」「30番」「札幌駅前前行」「郊外線(静内行、平取行)」、のりば②から「21番」、のりば③から「13番」「14番」に乗り、「出光カルチャーパーク」で下車(所要時間5分、料金210円) ※下車後徒歩約5分
- 自家用車 国道276号(支笏湖通)と国道36号の交差点(「苫小牧信用金庫中野支店」かど)を港方向へ曲がり、交差点の次の信号を右折。出光カルチャーパーク内に無料駐車場(約50台駐車可)があります。

Tomakomai City Museum 苫小牧市美術博物館

【愛称: あみゆー】

〒053-0011 北海道苫小牧市末広町3丁目9番7号
TEL 0144-35-2550・FAX 0144-34-0408
<https://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/hakubutsukan>
<https://www.facebook.com/tomakomai.museum>
https://twitter.com/tomakomai_amyu